氏	名	本間三恵子	部署	健康行動科学専攻	職名	准教授				
研究	2分野	医療社会学、ヘルスコミュニケーション 博士(保健学)/ PhD、修士(公衆衛生学)/MPH								
学	位									
学	学歴	95年東京大学文科三類入学、99年東京大学教養学部教養学科(相関社会科学)卒業、2010年東京大学大学院医学系研								
,		究科公共健康医学専門職学位課程修了、2013年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了								
経	Y 歴	1999-2007 アメリカンファミリー生命保険会社(医療機関調査、査定等)								
所属学会	:(役職)	日本ヘルスコミュニケーション学会(運営委員)、日本保健医療社会学会、等								

[2	2023年度実績】									
1. 研究業績										
(1) 著作										
	著作の名称			ISBN	発	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月
1	1 該当なし									
((2)論文									
	論文の名称			査読	IF対象誌	象誌 雜誌名、卷(号)、開始-終了^ - ジ 著者、編者名			発表等年月	
1	著者解題・総合討論―特集 合評会「病いの会話 ネパールで糖尿病を共に生きる」		共著	なし		立命館生存学,7:,53-81,	研究	美馬達哉,中村友香,高橋 花間三恵子,柏﨑郁子	芘子, <u>本</u>	2023年9月
()	(3)学会発表									
	学会発表の演題			学	会名、	名、開催都市 発表者(発表者は○印)			発表等年月	
1	健康リスクとしての「孤独/loneliness」 医学論文の動向から		単独			ニュニケーション 023 於:福島 ○ <u>本間三恵子</u>			2023/10	
2	協働的組織風土と乳がん経験者のウェル ビーイングの関連性 構造的共分散分析に よる検討		共同			ユニケーション ○榊原 圭子, 本間 三恵子, 橋本 久美子, 山ウ 英子		€子, 山	2023/9	
(.	4) その他									
	名称		単・共		発表場所等 発表者 (発表者は○印)			発表等年月		
1	該当なし									
2.	競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称		研究名				研究代表者・研究分担者の別 研究代表者・研究分担者の別		f究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)		「ソロカルチャー」は社会病理か 健康の資源か:ひとりと癒しをめ ぐるエスノグラフィー			りと癒しをめ	研究代表者 2022/4			1-2025/3
3.	教育業績		•							
(1)講義									
	講義の名称	科目責任者		マ数		概要(教育内容・方法等において工夫した点)				
1	健康・医療と文化	0		15		健康行動科学専攻の専門科目として、医療人類学、社会学につき教授した。				つき教授し
2	健康科学7(ヘルスコミュニケー ション)	0		15		健康行動科学専攻の専門科目として、ヘルスコミュニケーションにつき 教授した。				ョンにつき
3	定性的データの収集と分析	0		15		健康行動科学専攻の専門科目として、定性的データの分析方法につき教授した。				
4	健康情報リテラシー2	0		15		健康行動科学専攻の専門科目として、リテラシーにつき非常勤教員とともに指導した。				
5	健康行動科学入門I:兼担			1		健康行動科学専攻の専門科目として、健康行動科学のエッセンスにつき 教授した。				

6	健康行動科学入門॥:兼担		1	健康行動科学専攻の専門科目た。	として、健康行動科学と	進路に	つき教授し			
7	院:保健医療福祉研究法特論:兼 担		2	大学院科目として、定性的データの扱い方を教授した。						
8	院:健康教育評価法:兼担		3	↓ 大学院科目として、ジャーナル論文の購読法を教授した。						
(2)演習			L						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)						
1	課題別演習Ⅰ	0	15	基礎文献の購読、文献検索方						
2	課題別演習Ⅱ	0	15	基礎文献の購読、研究テーマの設定と計画作成につき指導した。						
	(3) 実習									
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容	・方法等において工夫し	た点)				
1	ヒューマンケア体験実習		5日間	ヒューマンケアの基本理念に	つき実習で教授・サポー	- トを行った。				
2	健康行動科学臨地実習		半日	学生実習の発表会への参加を	行った。					
((4)論文指導									
	対象		期間	副指導の別及び指導人数	 数					
1	卒業論文		2023通年	主指導 3名 副指						
2	修士論文		2023通年	主指導(指導教員)	名 副指導(指導補	輔助教員) 1名				
(5) その他				,					
	名称		期間	概要(教育内容	・方法等において工夫し	た点)				
1	該当なし									
4.	社会貢献活動									
(講師								
	講演会、研修会、公開講座等の	 名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ			開催年月			
1	該当なし									
(Ⅰ 2)国、自治体、学術団体等における。	る委員等	<u> </u>							
	国、自治体、学術団	体等の名	 3称	委員等の			任期			
1	日本ヘルスコミュニケーション学会	<u> </u>		運営委員			2019.4-			
	<u>1</u> 3)ジャーナリズムでの発言					<u>I</u>				
	メディア等の名称						年月			
1	該当なし									
	4) その他									
	項目相手方等		内容				期間			
1	該当なし		134							
	学内運営									
	項目					期間				
1	学長指定プロジェクトへの関与	該当な	L							
-						2023年	度			
2	大学広報活動	オーブ	ンキャンバス. 高	1校訪問		2023年度				
	大学広報活動 学科等における委員会等			校訪問			_			
	大学広報活動 学科等における委員会等	学部教	務委員会		パー (#SPII) 制作の	2022.4				
3	学科等における委員会等 学生支援	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材	校訪問 および清透祭でのフリーペー	パー(#SPU)制作の					
3	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動)	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材			2022.4	-			
3 4 6.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動) 受賞名	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材		パー(# SPU)制作の 主催	2022.4				
3 4 6.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動) 受賞名 該当なし	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材			2022.4	-			
3 4 6.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動! 受賞名 該当なし 特許の取得	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材		主催	2022.4	受賞年月			
3 4 6. 1 7.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動) 受賞名 該当なし 特許の取得	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材			2022.4	-			
3 4 6. 1 7.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動! 受賞名 該当なし 特許の取得 特許名 該当なし	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材		主催	2022.4	受賞年月			
3 4 6. 1 7. 1 8.	学科等における委員会等 学生支援 受賞(研究、教育、社会貢献活動) 受賞名 該当なし 特許の取得	学部教 ゼミ生 指導	務委員会 による、地域取材		主催	2022.4	受賞年月			